

国際交流事業が目白押し

スポーツ交流や 姉妹都市フォクストンへ



まつり囃子に合わせ全員で手ぬぐい踊り (8月6日・少年の翼、フォクストンで)



日本の食文化「おにぎり」教室は大好評

「国際都市成田を象徴するかのよう」に7月下旬から8月上旬にかけて、さまざまな国際交流が盛んに行われました。7月には、成田の少年サッカーチームと交流するためにサンフランシスコの中学生サッカーチームが、8月には日独スポーツ少年団同時交流事業としてドイツの柔道少年たちが成田を訪れました。また、成田からは「成田市少年の翼」が姉妹都市のニュージールランド・フォクストンを訪問。ホームステイを通して現地の生活・文化を体験しました。



県内私立中高生の合同練習に参加 (8月5日・日独交流、市体育館で)



書道を体験し、うちわを作る。名前も漢字で



交流試合では激しくボールを奪い合う (7月30日・米国サッカーチーム来成、下総運動公園で)



試合終了後にはサインの交換

トピックスなりた



安産・子育て・災難除けで知られる龍正院

龍正院の四万八千日

近郷近在からの 参拝者でにぎわう

「しまんほっせんにち」と呼ばれる伝統行事が、毎年8月9日に龍正院(滑河観音)で行われています。別名「ほおずき市」ともいい、この日にお参りすると4万8千回お参りしたのと同じご利益があるとか。ことしは台風の影響が心配されましたが、夕暮れ時を迎えると多くの人で境内はにぎわいました。



ほおずきを求める参拝客



太陽に向かって

野菜や卵の加熱に太陽光を利用する「太陽熱クッキング」が、猛暑となった8月9日、子ども館で行われました。太陽の動きに合わせて、少しずつ角度を変えながら焼き上げたかぼちゃやホットケーキなどを賞味した子どもたちは、改めて太陽熱のパワーを実感していました。

太陽熱クッキング 太陽のパワーを実感



8面の特設コートで

大栄B&G海洋センターを会場に7月29・30日の両日、「東日本協会対抗ペタンク選手権大会」が開催され東日本各地から集結した24チームが熱戦を繰り広げました。フランス生まれの「ペタンク」は金属製のボールを目標の赤いボールに近づけることを競うもの。誰にでも気軽にできる人気のニュースポーツです。

東日本協会対抗ペタンク選手権大会 精鋭が集合し 熱戦を繰り広げる

科学あそび

スライムや スーパーボール作りに挑戦

「高分子化合物ってなんだ?〜ふくらむスライムとスーパーボールをつくろう〜」と題した「科学あそび講座」が、7月27日、市立図書館で開催されました。参加した子どもたちは、科学の魅力と面白さを存分に体験。目の前で起こる化学変化に目を輝かせ歓声を上げていました。



不思議な感触にびっくり



「何が起きるんだろう…」と興味津々